

花実の森のササユリ 種から“里親育苗”を試行



毎年6月になれば清楚な花を咲かせ楽しませてくれる“花実の森”のササユリたち。100輪はあるだろうが最近は減少傾向ではないかと気がかりなところ。自然の中で子孫を継承していける生存率の厳しさを知らされる。



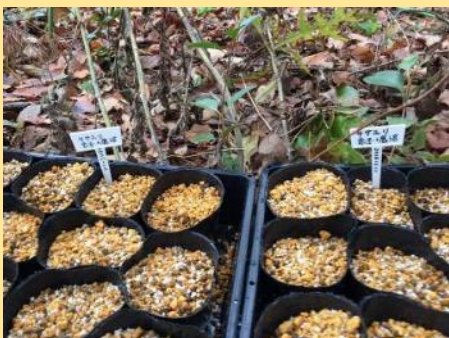
そこで、今花実の森にたくさん自生しているササユリを絶やさないように、少しでも増えていくようにとの思いから、花実の森の中に育苗ポットに種をまき、林内に設置してみました。活動日以外の世話がゆき届かず、特に夏季の水不足などから枯渇してしまう状況を繰り返してきました。

そこで、苦肉の策として2018年6月の開花の内、11月末に3個の種穂を採種、自宅での“里親育苗”にトライしてきました。ここでその経過観察の状況をまとめてみました。今後の参考になれば幸いです。

◎ 今まで現地“花実の森”内で実施してきた育苗活動の方法



← 種の採取
中の種が十分熟したものを採取
→ 種まき
現地の腐葉土に鹿沼土を加え育苗ポットに2～3粒ずつ植えていく



腐葉土・鹿沼土・赤玉土などの混合具合を示した名札を付けて生育具合を観察



花実の森内 半日陰の場所に置き育苗観察開始。結果的には、3年目の春に発芽してきたものの、夏の水やり不足、日照過多、雑草の繁茂などにより消滅。残念！

◎花実の森内での育苗はあきらめ、2018 年 12 月から“里親育苗”として自宅での育苗を試行

==今回は 2023 年 11 月の里帰り苗に育つことをめざす==

【種の確保と植え付け】

2018 年 11 月末に種穂 3 個採種 12 月初旬にポットに種の植え付け

発芽までには、ひと冬・ひと夏の土中生育を必要とするため、発芽が期待できるのは、15 か月後の 2020 年 3 月頃の予定。その間も適度な水やりと、半日陰など置き場所の移動に気を配り、発芽に向けての球根生育に期待する。



2018 年 11 月 種の確保

ひとつの花からはびっしり詰まった種が入っており、その数約 1,000 粒くらいかな？



2018 年 12 月種まき

ここでも腐葉土、鹿沼土、赤玉土などの混合分けをした土をポットに入れて種まき、その生育状況に差があるかを観察してみる。

ポットの数=65 個

植えた種の数=65×3～4 粒÷250



【樹木下など半日陰に置き生育観察開始】
【2018 年 12 月から 16 か月 (3 年目) を経て発芽した後の生育管理】

【2020 年 3 月 (15 か月経過) 発芽に成功】



当然ながらどの種も 1 枚葉

15 か月を経た 2020 年 3 月、待ちに待った【発芽】に“待ってたよ”と歓迎。
(発芽率=1 ポットに 1~2 本の発芽で約 50%) 自然界での発芽率数%に比べてダントツに高い率 やはり人の管理の手が届くと育ちも良いということ)
その後も適度な水やりと、木陰など日照場所を考えながら「なるべく自然な環境生育」を目指すことに。

【2022 年 5 月~8 月 (種植えから 2.7 年=33 か月経過)】



この頃から少しずつ成長に差が表れ始める。早いものは茎をもち、葉も 2, 3 枚つけてきた。

【2022 年 11 月(種植えから丸 4 年 球根の植替え)】

種を植えてから 4 年 (48 か月) が経過し、球根もそれなりに育っているものと判断、今後の球根の生育を考え植替えをすることを決断。種植え後初めて球根を掘り出してみた。



植替え前の様子
球根を残し、葉は枯れ落ちた状態



掘り出した球根は土を落として水洗い後しっかり消毒
3 cm 球=3 個 2 cm 球=15 個 1 cm 球=30 個
1 cm 未満球=50 球



3 cm 球=3 個の鉢に 1 個ずつ



2 cm 球=16 個のポットに 1 個ずつ



1 cm 球=16 個のポット
に 2 個ずつ



1cm 未満球=ばら植え

さあ 来年の春にはどんな姿で芽生えてきてくれるかな？

【2023 年 4 月 6 年目の生育状況】球根を植え替えて最初の春



しっかりと全数が芽を出してきた。ただし、生育の度合いはかなり差があり、まだ一枚葉のものから茎を伸ばし葉を 3~4 枚付けたものも多い。



6 年目だというのに今年もまだ一枚葉のままの苗もあり。新しく分岐して育ってきたものかな？



いちばん成長の良いものはつぼみをつけている株が 2 本あるのには驚いた。

その 2 本も 6 月 2 日に 1 輪開花、6 月 6 日にもう 1 輪開花。感激の対面です。来年は 30~40 輪が期待できそうなので、今年の 11 月に故郷の花実の森に里帰りの植替えを予定しております。



元気に育て里子のササユリたち。